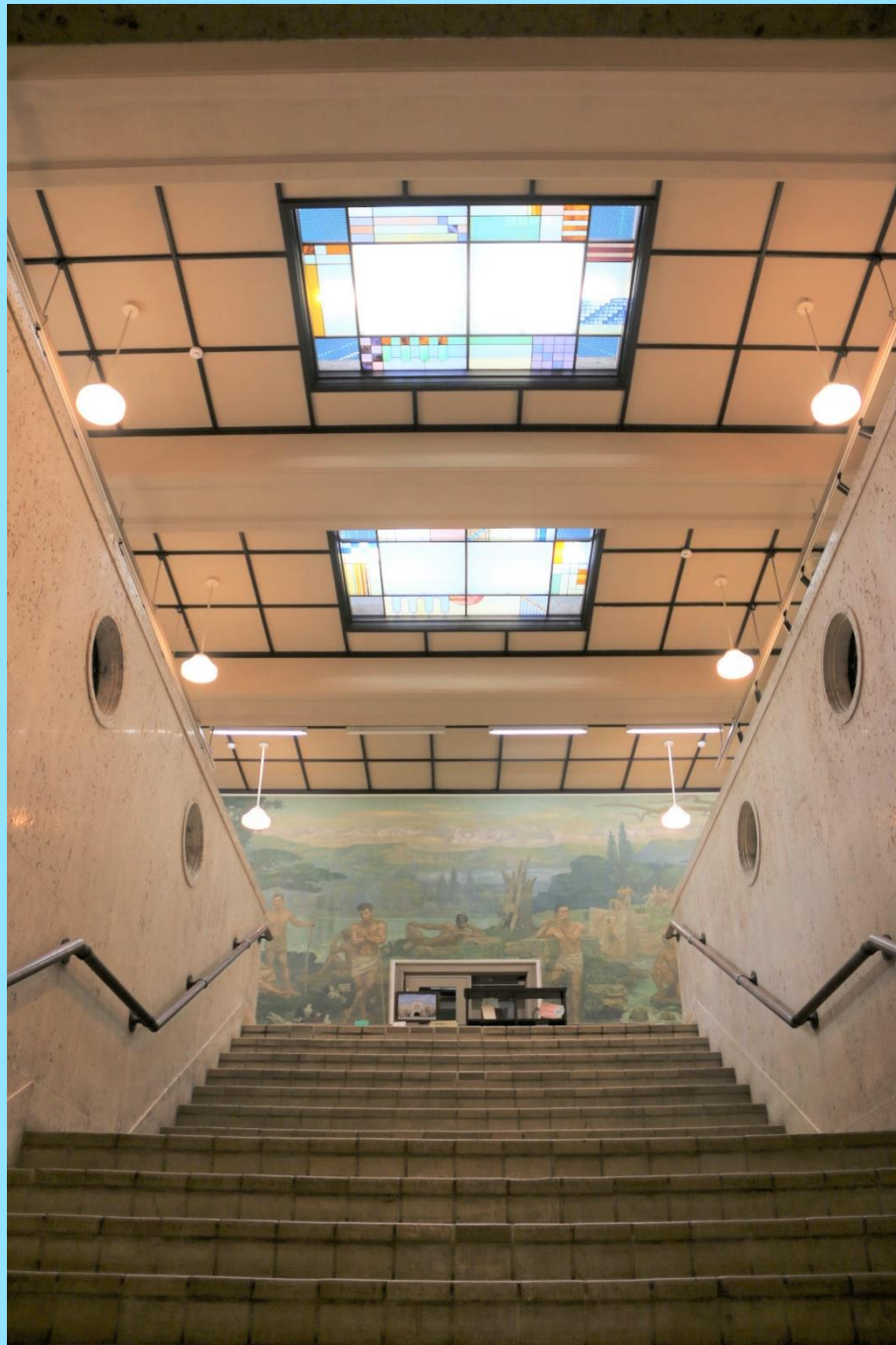


1933

— 社会科学系図書館誕生90周年 —



令和5年度
神戸大学附属図書館資料展

展示品目録

令和5年10月13日(金)～12月20日(水)

社会科学系図書館2階 展示ホール

1. 建築と意匠

社会科学系図書館は、昭和初期の学校建築の好例として認められており、レトロな姿を現在に残しています。旧制神戸商業大学当時の様子を資料で紐解きながら、建物の特徴や中山正實画伯が描いた壁画を紹介したうえで、同年代・他大学の建築と見比べます。

第8回卒業アルバム(1939)より



1-1 1-パネル	『第八回 卒業記念[アルバム]』神戸商業大学	図書	1939(昭和14)年	神戸商業大学の卒業記念アルバム。当時の正面玄関の写りが掲載されている。写真は1939(昭和14)年頃に撮影されたと推定される。	社会科学系図書館
1-2 1-パネル	『壁画「青春」画稿』中山正實作	巻物	1933(昭和8)年	壁画の作者、中山正實の手による長さ15.3mに及ぶ巻物。各場面のデッサンと含蓄に富む数々の言葉に、温かな人柄や壁画に懸ける想いが表れている。	社会科学系図書館
1-3	『神戸商業大学図書館壁画完成記念[パンフレット]』中山正實作	パンフレット	1935(昭和10)年	当時の壁画完成記念パンフレット。壁画の全面と部分の写真、および中山正實の謝辞が掲載されている。壁画全面のページに記載されているテーマは7つのみだが、壁画の画面奥も合わせると全部で11のテーマが確認できる。	社会科学系図書館
1-4	「神戸商業大学図書館壁画完成記念[絵葉書]」	絵葉書	1935(昭和10)年	上記のパンフレットから作成された絵葉書。裏面の切手貼付箇所には神戸商業大学の菊水の紋章が見える。中央で切って2枚に分割する仕様となっている。	
1-5	「神戸商業大学図書館壁画修復完成記念[絵葉書]」	絵葉書	2011(平成23)年	大壁画「青春」の修復を機に、1935(昭和10)年作成の絵葉書を複製したもの。袋の裏面に「神戸商業大学図書館壁画修復完成記念」と追記されている。	社会科学系図書館
1-パネル	『国登録有形文化財旧神戸商業大学施設修理工事報告書』大林組	報告書	2014(平成26)年	平成21年から26年にかけて実施された国登録有形文化財旧神戸商業大学施設修理工事の報告書。社会科学系図書館本館・書庫でも工事が行われた。報告書には、竣工当初の図書館の図面も掲載されている。	
1-パネル	『第六回 卒業記念[アルバム]』神戸商業大学	図書	1937(昭和12)年	神戸商業大学の卒業記念アルバム。当時の学生閲覧室の写真が載っている。写真は1937(昭和12)年頃に撮影されたと推定される。	社会科学系図書館
1-パネル	『凌霄五十年』凌霄五十年編輯委員会編	図書	1954(昭和29)年	創立五十周年を記念したアルバム。神戸高等商業学校から神戸商業大学・神戸経済大学を経て神戸大学にいたる五十年の歴史がまとめられている。図書館に関する写真や文章も掲載されている。	社会科学系図書館
1-パネル	大壁画「青春」中山正實作	壁画	1935(昭和10)年	社会科学系図書館2階正面に位置する、縦3.61m、横10.68mの大壁画。1973(昭和48)年度および2010(平成22)年度の修復を経て、今なお美しく保存されている。	社会科学系図書館

2. 昭和初期の図書館と貴重書

太平洋戦争中の1945(昭和20)年2月に行われた貴重書の疎開事業に着目し、その当時の資料と実際に疎開された貴重書を展示します。また、前身校からの蔵書印の変遷や、六甲台移転後の図書館の運用規則などもあわせて紹介します。

『凌霄五十年』より



2-1	蔵書印 6点	印章		蔵書印は書物の所有者を明らかにするため押印されるものである。神戸大学附属図書館の蔵書印は、前身校の神戸高等商業学校や神戸商業大学、神戸経済大学の頃のものも含め、名称変更とともに変化してきた。	社会科学系図書館
2-2	『現代の科学戦』坂口橋雄 [著]	図書	1937(昭和12)年	実際に押印された神戸商業大学時代の蔵書印の一例。標題紙(タイトルページ)に押印されている。	社会科学系図書館

2-3	『神戸商大新聞』103号(通巻319号) [複製]	新聞記事	1939(昭和14)年3月24日	学生新聞『神戸商大新聞』には、当時の学生による貸出規則改善を求める記事が掲載されている。	社会科学系図書館
2-4	『図書館事務ノ執り方：神戸高商図書館の實例』鞠谷安太郎編	図書	1926(大正15)年	神戸高等商業学校図書館司書であった著者が、自校の図書館の事務手続きを簡潔かつ網羅的に編纂したもの。	社会科学系図書館
2-5	『疎開圖書目録：昭和二十年二月十七日』神戸経済大学附属図書館	目録	1945(昭和20)年	1945(昭和20)年2月に実施された第1次疎開のために選定された図書のリスト。第1次大戦後に蒐集された貴重書や、歴史的名著の初版本を中心に、約300冊が選定された。	
2-6	『The treasure of traffike or a discourse of forraigne trade』by Lewes Roberts	図書	1641年	イギリス商人ルイス・ロバーツによる貿易に関する書。“貿易を発展させるための実際の方策、例えば金銀の自由輸出、関税の低減、独占および個人的特許権の排除を提唱したものである。”(南論造「古版経済書管見」より)	社会科学系図書館
2-7	『An inquiry into the nature and causes of the wealth of nations』by Adam Smith	図書	1776年	アダム・スミス著『国富論』の初版本。1945(昭和20)年2月に実施された第1次資料疎開の対象資料。(展示期間 2023.10.31まで)	社会科学系図書館
2-8	『Das Kapital : Kritik der politischen Oekonomie』von Karl Marx	図書	1867年	カール・マルクス著『資本論』の初版本。1945(昭和20)年2月に実施された第1次資料疎開の対象資料。(展示期間 2023.11.1から)	社会科学系図書館
2-パネル	『神戸商業大学一覽』	図書	1935(昭和10)年	『神戸商業大学一覽』に掲載されている「図書館並びに閲覧規定」からは、当時の図書館サービス的一端がうかがえる。閲覧・貸出については、現在よりも制約が多かった。	社会科学系図書館
2-パネル	『圖書分類項目表』神戸高等商業学校圖書課	図書	1926(大正15)年	神戸高等商業学校の時代から、2004(平成16)年度に日本十進分類表(NDC)に変更されるまで使用されていた圖書分類表。	社会科学系図書館
2-パネル	『圖書費其他要求ニ關スル書類 昭和十九年度』	文書	1944(昭和19)年	防空資材に関する1944(昭和19)年度の予算要求書類。資材や職人の不足により、入手は困難だった。また「書庫裏土手ニ防空用穴ヲ掘リタキ意向ヲ持ツ」との記述があり、切迫した様子を感じることができる。	

3. 筒台から六甲台へ

官立2番目の高等商業学校として葺合区筒井村（筒台）に創立した神戸高等商業学校は、1929（昭和4）年に神戸商業大学に昇格し、現在の六甲台へと移転しました。大学昇格や校舎移転の経緯、当時の教員や授業内容、学生生活について紹介します。

『凌霜五十年』より



3-1	『神戸商業大学卒業記念アルバム 第4回』	図書	1935(昭和10)年	神戸商業大学の第4回(1935(昭和10)年度)卒業アルバム。筒台から六甲台新校舎への機能移転は同年7月に行われ、竣工式が10月25日に実施された。そのため当時の工事現場や引っ越し作業の写真が収録されている。	社会科学系図書館
3-2	『A treatise on money v.1,2』J.M.Keynes	図書	1930(昭和5)年	邦題『貨幣論』として知られる、経済学者ケインズの著書。増井光蔵教授の「国際金融論」講義では、共同研究のテキストとして用いられた。	社会科学系図書館
3-3	『Theorie der wirtschaftlichen Entwicklung』Joseph Schumpeter	図書	1930(昭和5)年	邦題『経済発展の理論』として知られる、経済学者シュンペーターの著書。原文はドイツ語による。丸谷善市教授「経済学」講義での輪読テキスト。	社会科学系図書館
3-4	『経営学参考文献抄』平井泰太郎編	図書	1931(昭和6)年	経営学を学ぶにあたっての参考となる資料の一覧。当時、どのような資料を使って学んでいたかが分かる。平井泰太郎教授「経営学総論」の参考書。	社会科学系図書館
3-5	『春の兵庫縣』兵庫縣観光協會編	図書	1935(昭和10)年	当時の六甲山上道路とボンネットバスの写真が掲載されている。バスが観光用のオープンカーとなっていることが分かる。あわせて六甲山・摩耶山への各経路と運賃が案内されている。	社会科学系図書館

3-パネル	『Souvenir album』第16回	図書	1922(大正11)年	神戸高等商業学校の第16回卒業アルバム。1921(大正10)年2月8日、神戸高等商業学校の大学昇格をめぐる学生大会が開催された。	社会科学系図書館
3-パネル	『實測神戸市地図』	地図	1912(明治45)年	神戸高等商業学校開校から10年後の筒台付近の地図。周囲は大根畑と苺畑しかなく、交通の便も悪かった。この年の12月に神戸電鉄(のち神戸市電)が開通した(※地図上の赤線)。	人間科学図書館
3-パネル	『實地踏測神戸市街全圖』日下伊兵衛著(昭和7年版・9年版)	地図	1932(昭和7)年 1934(昭和9)年	神戸商業大学開学3年後と5年後の神戸市地図。1920(大正9)年に神戸市電と阪急電鉄が上筒台で結ばれ周囲は賑やかになった。昭和9年版は六甲台への移転が完了しておらず、筒台と六甲台の両方に「神戸商業大学」の文字が見える。昭和9年版はNo.4-6と同じ資料。	社会科学系図書館 人間科学図書館



4. 神戸の暮らし

社会科学系図書館が竣工した頃は、恐慌からの回復、また軍需景気へ転じた時期でした。当時の神戸で人々の暮らしを彩った文化・娯楽をいくつか紹介します。

神戸商業大学 1934(昭和9)年 第3回卒業記念アルバムより

4-1	「港の”新”名所「神戸そごう」の新しき店」[複製]	新聞記事	1933(昭和8)年9月29日『大阪朝日新聞』朝刊	そごうの三宮移転開店の2日前にそれを報じる記事。立地や建築の特色、取扱商品、屋上庭園などについて書かれており、「蓋明けと同時に連続と御出掛けなさい」と勧めている。	社会科学系図書館
4-2	『百貨店統制の目標』平井泰太郎講演	図書	1937(昭和12)年	昭和12年に行われた神戸商業大学商業研究所の講演の要点をまとめた冊子。当時の全国百貨店の規模などについての表が複数掲載されている。	社会科学系図書館
4-3	『神戸市商工名鑑』神戸市役所商工課編	図書	1935(昭和10)年	神戸市内に本店か支店を持ち、昭和9年5月現在営業収益税を50円以上納付する会社等を記載したもの。「和洋菓子麵麩並同原料」の項目に、モロゾフやユーハイムといった神戸を代表する洋菓子店の名前が記載されている。	経済経営研究所図書館
4-4	神戸松竹座広告 [複製]	新聞広告	1931(昭和6)年7月15日『神戸商大新聞』第17号	神戸松竹座は1929(昭和4)年11月1日に新築開館し、洋画の興行の他にレビューの上演も行った。広告中の「ウエスタンエレクトリック機」とは同社製の発声映写機のこと、トーカー上映のために必要だった。	社会科学系図書館
4-5	聚楽館広告 [複製]	新聞広告	1934(昭和9)年11月20日『神戸商大新聞』第55号	聚楽館は1913(大正2)年に演劇場として開館し、1927(昭和2)年に映画常設館に転向した。1934(昭和9)年の改築開館では、アイススケート場が併設された。	社会科学系図書館
4-6	『實地踏測神戸市街全圖』日下伊兵衛著 [複製]	地図	1934(昭和9)年	縮尺12,000分の1の神戸市地図。題字欄の下方(移転元)と右上(移転先)の2箇所に「神戸商業大学」が見える。裏面には播州地図や観光案内がある。No.3-パネルと同じ資料。	人間科学図書館
4-パネル	『大阪毎日新聞』1934年6月16日の記事	新聞記事	1934(昭和9)年6月16日	記事タイトルに「六甲を舞台に鎬を削る阪神阪急…」とある。六甲山に観光客が押し寄せていること、その観光客を狙って阪急と阪神が宝塚・有馬への遊覧コースを計画していることなどが報じられている。	新聞記事文庫 [デジタルアーカイブ]
4-パネル	『第三回 卒業記念[アルバム]』神戸商業大学	図書	1934(昭和9)年	神戸大学の前身校である神戸商業大学の卒業アルバム。「思ひ出のとこところ」として神戸市内の風景写真が記載されており、六甲ケーブルやロープウェイの写真も見られる。	大学文書史料室